教育課程特例校編成の方針等について

つくばみらい市立谷和原小学校

1　つくばみらい市における特別の教育課程特例校編成の方針等について

つくばみらい市では、教育振興基本計画において、基本理念「Realize your dream　～世界へ羽ばたけ～」のもと、基本目標の１に「自分の可能性に挑戦する学力を育てる」と掲げ、時代に対応した教育の推進のため、グローバル化に対応した国際理解教育の充実を具体的施策の一つとしている。教育課程の編成にあたっては、小学校１年生～２年生において、生活科の 35 時間分（１年生は 34 時間分）を削減し、「英語活動」として新設する。「英語活動」においては、英語に触れる体験的な活動をとおして、英語を聞いたり話したりすることに興味・関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに、言語、文化、生活、習慣などに対する理解を深め、異文化や異なる文化をもつ人々を受容し、共生することのできる態度・能力（共生）、自らの国の伝統・文化に根ざした自己の確立（主体性：個の確立）、自らの考えや意見を積極的に発信し、具体的に行動することのできる態度・能力（自己決定・行動力）などの国際理解の基礎を培うことをねらいとしている。生活科の授業時数削減にあたっては、本来の生活科での学習内容の一部を、「英語活動」におけるＡＬＴやＨＲＴ、ゲストティーチャー、保護者などとのコミュニケーション活動等を通して補うようにする。

2　つくばみらい市における地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

今日、英語は、様々な場面において国際共通語として用いられており、多くの外国人と交流を深め、国際理解を進める上で最も有効な言語であり、世界とのコミュニケーションを図る上で欠かせない言語であるといえる。今後、小学校における英語活動の充実はますますその重要性が高まることが予想され、それに的確な形で応えていくことが求められていくと考える。そのような中、「グローバル人財の育成」を目指すつくばみらい市は、国際化時代への積極的な取り組みの第一歩として、小学校の低学年における英語活動を教育課程に位置付けることで、様々な国の人とのふれあいを通して、優しさ・思いやりを基軸にした国際理解の精神を育てると共に国際コミュニケーションの素地を養い、次代を担う人づくりを目指していく必要がある。

3　本校における特別の教育課程の編成・実施にあたっての児童の実態と今後の方針について

本校は、「夢に向かって　共にのびよう」の校訓の下、「笑顔で学び続ける子供の育成」を本校教育目標とし、充実した教育活動を展開している。全学年単学級であり、２０名前後の児童が各学年在籍している。小学校低学年で英語の学びを実施することで、公立幼稚園で培った英語力をさらに継続して育成し、中学年からの「外国語活動」へと繋げる。

今後の方針としては、発達段階に応じて、英語での会話に積極的に取り組み、日常的に英語でコミュニケーションが図れる児童を育成したい。体験的な活動を重視しながら、外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度を育む学習を展開していく。

4　実施の期間

令和６年４月から